

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 015号

産業カウンセラーを 宣伝し続けて得た役割

廣村 隆明さん

会社名：株式会社日本オーエー研究所

所属：公共コンサルティングソリューション部 役職：課長

資格：産業カウンセラー



【受講のきっかけ】

会社で数十名の社員を取りまとめる立場になり、メンタル不調を出さない組織にしたいと思い「メンタルヘルス・マネジメント®検定」資格の勉強をしていました。その勉強中に「産業カウンセラー」という言葉と出会いました。

「産業カウンセラー」について調べてみると、HPに「産業カウンセラーの3つの活動領域」が掲載されており、私の求めていた知識にベストマッチしていたこと、面接実習が104時間としっかり傾聴を学べる講座内容に興味を持つようになりました。その後、無料の傾聴体験講座に参加し、より傾聴を学びたい気持ちが強くなり受講する決意をしました。

養成講座では、自分自身の内面と向き合うことが多く、自信を失うこともありましたが、同じ志を持った講座の仲間の優しさに助けられ、とても充実した気持ちで講座を終えることができました。

【資格取得後の活動状況】

産業カウンセラーの資格取得後に会社で資格を活かしたいと思っていましたが、何から始めれば良いかわからず、まず社内外の方に産業カウンセラーであることを認知してもらうことから始めようと思い、名刺に「産業カウンセラー」を記載することにしました。

続いて社内の産業カウンセラーの認知度を高め

るために、私が傾聴のプロであること、メンタルヘルス対策の支援ができることを地道に宣伝し続けました。

昨年、教育担当の方に「新人教育のOJTでメンター制度（新人の相談役）を導入するため、傾聴の研修をしてもらえないか」と相談され、本務の合間で企画することは大変だと思いましたが、このチャンスは今後に繋がると思い即答で引き受けることにしました。

「傾聴研修」の研修内容を一から企画し、講師役も無事に終えることができました。研修の参加者からの評判も良かったようで、今年も「傾聴研修」の講師を担当することになりました。

今年は更に「新入社員向けメンタルヘルス研修」の講師役も依頼され、3日間の研修プログラムを企画し、新入社員からの評判も良く終えることができました。

「傾聴研修」「新入社員向けメンタルヘルス研修」の講師役は、今後も継続させてもらえる予定になっており、産業カウンセラーを宣伝し続けたことで得ることができた活躍の場なのだと感じています。産業カウンセラーとして自己研鑽を重ね、これからも宣伝を続けて活躍の場を広げていきたいと思っています。